



凡 例

★ : 対象事業実施区域

未固結堆積物 — 柿崎 —	: 人工盛土	] 人工盛土 ] 海岸砂 ] 砂丘砂 ] 氾濫原堆積物	] 完 ] 新 ] 世	未固結堆積物 — 高田東部 —	: 泥・砂・砂礫	] 氾濫原堆積物 ] 扇状地堆積物 ] 段丘堆積物 ] 西山層	] 完 ] 新 ] 世 ] 鮮 新 世
	: 砂				: 砂 礫		
	: 砂				: 泥・砂・砂礫		
	: 泥・砂 (砂礫をはさむ)				: 泥岩・砂岩互層		

出典：「土壌分類基本調査 — 表層地質図 — 柿崎」

(新潟県、昭和 54 年 3 月)

「土壌分類基本調査 — 表層地質図 — 高田東部」

(新潟県、昭和 55 年 3 月)



1:50,000

0 1 2km

## 2-1-6 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

## (1) 動植物の概要

新潟県の南西部に位置する上越市域は、海拔0mの海岸部から最高標高は不動山の海拔1,430mの山地帯に及び多様な環境を有するため、多くの動植物が生息・生育する地域である。植生帯区分ではヤブツバキクラス域とブナクラス域に含まれる。対象事業実施区域周辺における現存植生図を図2-1-19に示す。対象事業実施区域の区分は水田雑草群落\*であるが、北側にはスギ・ヒノキ・サワラ植林が分布する。

## (2) 貴重な動植物

対象事業実施区域周辺における貴重な動植物の分布状況を図2-1-20に示す。「新潟のすぐれた自然」、「続・新潟のすぐれた自然」及び「第2回自然環境保全基礎調査」によると、対象事業実施区域周辺では、中頸城海岸（県内でも稀な海岸砂丘植物群落）、大瀧湿地のハンノキ林（県内の低湿地に残された希少な群落）が位置するほか、マダラヤンマ等の貴重な昆虫類が確認されている。

また、上越市では、市域における貴重な動植物の生息・生育状況について「上越市レッドデータブック（上越市、平成23年）」にとりまとめている。上越市レッドデータブック\*によると表2-1-20に示すように貴重な動植物として259種（植物59科136種、キノコ類13科20種、哺乳類5科7種、鳥類18科27種、爬虫類1科1種、両生類4科8種、魚類11科14種、昆虫類25科46種）が選定されている。

表 2-1-20 貴重な動植物の分類群別選定結果

対象分類群	RDB 対象種	カテゴリー区分				
		野生絶滅 (EXまたはEW)	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	要注意種 (要)
植物	136種	0種	8種	62種	66種	0種
キノコ類	20種	0種	0種	1種	7種	12種
哺乳類	7種	0種	0種	5種	1種	1種
鳥類	27種	2種	3種	4種	8種	10種
爬虫類	1種	0種	0種	0種	0種	1種
両生類	8種	0種	0種	1種	5種	2種
魚類	14種	2種	2種	4種	5種	1種
昆虫類	46種	3種	3種	4種	19種	17種
合計	259種	7種	16種	81種	111種	44種

出典：「上越市における絶滅のおそれのある野生生物－上越市レッドデータブック－」  
(上越市、平成23年)